

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(4)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月1日朝の東しゃこたん漁協(古平地区)荷受け分の漁獲物測定調査を実施しましたので、結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

序盤から15入れが大半を占める展開には変化なく、漁獲物の平均体重は330gと相変わらず大型ニシンで構成されています。

2. メスの完熟率(表1)

沖合深みでの混獲のため湾奥ほど成熟は進んでおらず、15入サイズで80%、18入で25%がほぼ完熟ステージに入る卵巣となっていました。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成は30cmにモードのある5年魚(2012年級)が全体の89%を占めており、当地での前回調査(1月21日:速報1)に比べると30cmオーバーの高齢魚の割合が著しく小さくなりました。このことから、現在、湾奥で漁獲されている特大ニシン(6年魚以上の高齢群)については大半が湾内に入った模様です。また、前回調査に比べると4年魚の割合が小さくなりました。目合の関係もあると思いますが、やはり4年魚については今季はさほど期待できない状況と考えられます。また、漁期前予報で記したとおり3年魚(2014年級)の成長が良いため、近年の4年魚サイズクラス(27-28cm)にまで成長した3年魚が18入に混ざってきました(現状では割合が小さいため図1にはほとんど表示されません)。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	15入	18入	合計
漁獲重量kg(1日荷受分)	4,067.15	38.82	4,106.0
漁獲尾数	12,285	144	12,429
測定尾数	30	36	66
測定尾数(精密)	30	36	66
平均尾叉長(mm)	302	288	301.5
平均体重(g)	331	270	330.4
雌の比率	0.50	0.44	—
完熟率*	0.80	0.25	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

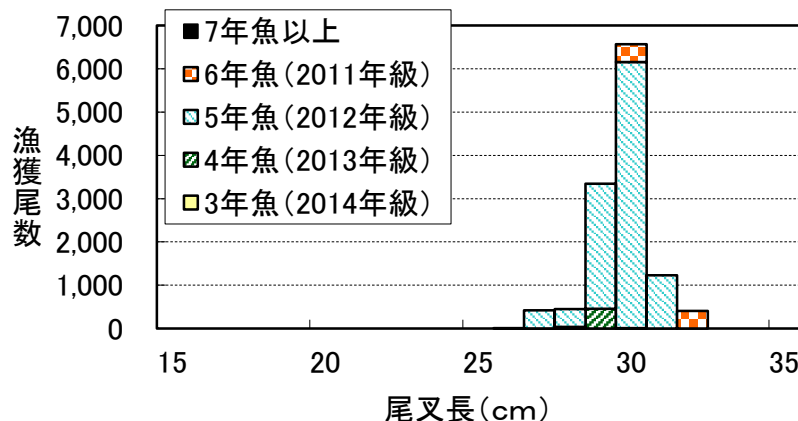


図1 2017年2月1日古平地区 年齢別尾叉長組成